

— 2018年 オレンジ郡教会の皆さんのみことば — 掲載第三回目

0・N 「わたしたちは、神がわたしたちに対して持つておられる愛を知り、かつ信じている。神は愛である。」 Iヨハネ 4:16

N・S 「このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大きいものは、愛である。」 Iコリント13:13

エズラ 3:11 「彼らも『主は恵み深く、イスラエルに対する慈しみはとこしえに』と唱和して、主を賛美し、感謝した。主の神殿の基礎が据えられたので、民も皆、主を賛美し大きな叫び声をあげた。」
【新共同訳】

私はイスラエルには4回ほど行ったことがあるのですが、どんどん発掘作業が進んでいて、行くたびに新しい遺跡を見ることが出来ます。エルサレム神殿は以前は城壁を残すのみでしたが、今では神殿の丘に登るための階段なども発掘され、「おお、ここは二千年前にイエス様が登った階段かっ」と、感動しながら踏みしめたりできるんです！

この聖句の通り、神殿は基礎がばっちり据えられて造られました。上に建っていた神殿や城壁は、紀元70年にローマ帝国によって破壊されてしまいました。でも、その土台部分は発掘によって姿を見せ始めています。発掘とはいって、二千年前の建造物を今でも見ることが出来るということ、これは基礎を据えるということの重要性を物語る歴史的な事実だなーと思わされます。私たちの信仰も同じですね。

基礎を据える、それはすなわち聖書のみことばの上に人生を建てるということです。3回にわたって、皆さんの“今年のみことば”を紹介してきました。これからもお一人お一人が、みことばに土台した歩みでありますように。

牧師 榊原のぶ

《使徒信条》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信す。我はその独り子、我らの
主イエス・キリストを信す。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架
につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。
かしこより來たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信す。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆる
し、体のよみがえり、とこしえの命を信す。アーメン

『主の祈り』

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を來たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2018年2月25日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榎原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

☆集会案内☆

日曜礼拝	: 09:30-10:40
ブレイク	: 10:45-11:00
バイスタ	: 11:00-12:00
みふみ会	: (水) 10:00-
定例祈祷会	: (水) 18:30-

